

## 第41回大分県教職員ソフトボール大会実施要綱

1. 趣 旨 ソフトボールを通じて、教育関係職員相互の親睦と融和を深めるとともに、健康的な職場づくりの推進に資する。
2. 主 催 大分県教育委員会・一般財団法人大分県教職員互助会
3. 大会役員

会 長	大分県教育委員会 教育長	山田 雅文
副 会 長	大分県教育庁 福利課長	古田淳一郎
〃	一般財団法人大分県教職員互助会 常務理事	迫 圭吾
〃	一般財団法人大分県教職員互助会 常務理事	窪田 一真
実行委員長	一般財団法人大分県教職員互助会 事務局長	宮森 絵美
4. 実行委員 実行委員長は会長の指示に従い、福利課及び互助会の職員の中から必要に応じて実行委員を定め、大会実行委員会を組織する。実行委員会事務局は互助会内に置く。
5. 日時場所 2024(令和6)年11月3日(日・祝日) ※小雨決行  
午前8時30分開会 (受付 午前7時30分～8時20分)  
午前8時45分試合開始  
大分市内6会場(11.会場の項参照)  
※申込チーム数により変更になる可能性があります。
6. 参加資格 大分県教職員互助会会員  
①正規職員・②臨時的任用職員・③退職会員  
※①②③は互助会に加入していること。  
※上記互助会員が所属する所属所等に勤務している、④会計年度任用職員(非常勤講師・非常勤職員等。注)についても参加可とする。  
注：④は公立学校共済組合短期給付の対象となる者。大分県公立学校教職員及び教育関係職員  
※市費雇用職員やPTA等団体雇用職員等は、参加できません。
7. 申込方法 (1) 別途通知(互助会報おおいた2024年9月号)するところにより、実行委員会事務局(互助会事務局)に申し込みすること。  
(2) 参加チームはA級6チーム、B級・C級合わせて80チーム程度とし、申込み数が多く、大会運営に支障を来すと判断した場合、実行委員会で抽選することもある。

8. チーム編成 (1) 上記6の参加資格を満たす教育関係職員等による自由チーム制とし、下記のとおり募集する。

※①正規職員・②臨時的任用職員の合計人数が、チーム編成人数の半数以上となること。

例：チーム編成人数が16人の場合、①②の合計が8人以上となること。

A級 ウィンドミル投法可

(投球距離は14.02m(投手が女性の場合は13.11m)とする)

ヘルメット着用を義務づける(各チームで準備)

盗塁有り

補助金3万円

B級 ウィンドミル投法可

(投球距離は14.02m(投手が女性の場合は12.19m)とする)

ヘルメット着用を義務づける(互助会で準備)

盗塁無し・振り逃げなし

補助金2万円

C級 スローピッチ投法のみ

(投球距離は男女ともに14.02mとする)

投球は地面から1.5m以上3m以下の高さでアーチを描くように投げなければならない。

ピッチャーは危険防止のため、ソフトボール又は野球の経験者が望ましい。

ヘルメット着用無し

盗塁・振り逃げなし

補助金2万円

(2) 複数の所属所職員によるチーム編成も可能とする。

(3) 1チームは20名以内とし、監督1名、主将1名を置くこと。

(4) 同一選手が複数のチームに重複して選手登録することは禁止する。

(5) A級参加チームが2チーム以下の場合にはA級とB級を統合する。

## 9. 競技規則

令和6年度日本ソフトボール協会競技規則に準拠する。

ただし次の特別規則を採用する。

①試合球は検定ゴム3号球とする。

②バットは検定3号バットとする。

③捕手は必ずキャッチャーマスクを着用すること。

④金属製スパイクの使用は禁止する。

⑤ユニフォームは自由とするが、必ず背番号着用のこと。

⑥背番号は、1～99番とする。なお、監督は30番、主将は10番を原則とする。監督・主将が指定と異なる背番号を着用する場合は申込書に明記し、審判と対戦チームに通告すること。

10. 競技方法 (1) A級・B級・C級は申込時の自己申告に基づく。  
(2) 7イニング制とするが、時間制限により7イニングより前に打ち切る  
ことがある。  
(3) 延長戦は行わず、同点の場合は抽選で勝敗を決する。  
(4) 上記(2)(3)、その他詳細については監督会議で提案する。
11. 会 場 大分市内 中学校・高等学校等 6会場  
A級(1会場) 未定  
B・C級(5会場) 未定  
※会場ごとにA、Bパートを設ける。
12. 審判員 (1) 球審は大分県ソフトボール協会に委嘱する。  
(2) 塁審(3名)点示員(1名)は参加チームが担当する。  
(3) 塁審、点示員は、前試合の敗戦チームが担当する。各会場第1試合に  
ついては、第2試合の若い番号のチームの担当とする。
13. 組 合 せ 監督会議時に抽選で決定する。
14. 表 彰 A級は優勝チーム。B級・C級は会場毎のパート優勝チーム。
15. 監督会議 令和6年10月26日(土)午前10時より、大分県教育会館の  
多目的ホールで実施するので、各チームの代表(監督または主将)  
1名は必ず出席すること。欠席の場合は棄権とみなすことがある。  
代理出席は可とする。
16. そ の 他 (1) 開会式には、各チーム2名以上参加すること。  
(2) 試合開始時刻15分を過ぎても選手の揃わないチームは、失格とする。  
(3) 各チーム責任者は補助金受領のため印章を用意すること。  
(4) ゴミは各自で必ず持ち帰ること。学校のごみ箱等の使用は厳禁。  
(5) 会場(学校敷地内)は全面禁煙であるので、厳守すること。  
(6) 交通費は各自負担とする。

## 競技規則

令和6年度日本ソフトボール協会競技規則に準拠する。

ただし次の特別規則を採用する。

- ① 試合球は検定ゴム3号球（互助会で準備する）。
- ② バットは検定3号バット（各チームで準備する）。
- ③ ヘルメット着用の有無は、実施要項8－（1）のとおりとする。
- ④ 盗塁の有無は、実施要項8－（1）のとおりとする。
- ⑤ 再出場（リエントリー）制、DP制を採用する。

## 競技方法

- ① トーナメント方式で7イニング制とするが、時間制限により7イニング以前に打ち切ることもある。コールドゲームはなしとする。
- ② 上記①の時間制限の場合、最終回・試合終了の判断は球審が行う。
- ③ 試合終了時に同点の場合、延長戦は行わず、抽選で勝敗を決定する。
- ④ 上記①の時間制限、及び上記③の抽選の詳細については監督会議で提案する。
- ⑤ 試合開始時刻を15分過ぎても、選手の揃わないチームは失格とする。

## 確認事項

- ① 投球距離は、実施要項8－（1）のとおりとする。
- ② 捕手は必ずキャッチャーマスクを着用する。（各チームで準備）
- ③ 金属製スパイクの使用は禁止する。
- ④ ユニフォームは自由とするが、必ず背番号をつけること。（安全ピン不可）
- ⑤ 背番号は、監督30番、主将10番、その他の選手は1～99番とする。監督・主将が指定と異なる背番号を着用する場合はオーダー表に明記し、審判と対戦チームに通告すること。
- ⑥ 登録選手の変更は、各会場本部に届け出があった場合に認める。ただし、届け出は各チームの最初の試合開始前とし、以後は認めない。
- ⑦ オーダー表は、試合ごと、試合開始までに各会場本部に提出すること。登録選手以外の出場は認めない。
- ⑧ ケガ等が発生した場合は、各チームの責任者が各会場本部に届け出ること。